

## 平成29年度 学校経営計画及び学校評価【城星学園幼稚園】

### 1 めざす学校像

城星学園は、カトリックの精神に基づき、創立者聖ヨハネ・ボスコ（ドン・ボスコ）の教育理念である『道理』と『信仰』と『愛』に根ざした教育法によって、園児、児童、生徒の全人間教育に励み、神を敬い、人を愛し、自然を大切にする『良心的な人間、よき社会人』を育成することを使命としています。

「教育は心の問題であり、青少年を愛するだけでは足りません。  
青少年が愛されていると感じられるように彼らと共に生きる」

### 2 中期的目標

- 1 アシステンツァを実践する
  - ① キリスト教精神に基づく教育活動の実践
  - ② 教職員対象のカトリック教育
  - ③ 祈りの習慣付け
  - ④ 保護者の啓発
- 2 「園児・児童・生徒の安全」管理を徹底する
  - ① 危機管理及び防災備蓄体制の確立
  - ② 実地訓練の充実
  - ③ 安全管理体制の公開及び発信
- 3 『「良心的な人間、よき社会人」を育成する教職員』を育成する
  - ① 社会人教育の実践
  - ② 社会貢献活動の展開
  - ③ 教育活動従事者としての意識と技術の向上
- 4 幼稚園ブランディングプロジェクトを推進する
  - ① 「オラトリオの心」ドンボスコの心を知り、深める
  - ② 幼稚園ブランディングプロジェクトの推進
- 5 自然に挨拶が交わせる学園にする
  - ① 教職員間のコミュニケーション円滑化
  - ② 園児・児童・生徒、保護者への挨拶の励行
  - ③ お客様、業者への挨拶の励行

### 【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

7. 自己評価アンケート結果と分析	4. 学校関係者評価委員会からの意見
<p>&lt;評価が相対的に高かった項目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○この幼稚園に通わせて満足している</li> <li>○教職員は気持ちの良い挨拶を行っている</li> <li>○施設設備は清掃が行き届いている</li> <li>○幼稚園の行事が楽しいと言っている (すべて満足度94%以上)</li> </ul> <p>&lt;評価が相対的に低かった項目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの応用力が養われている</li> <li>○地域との連携を積極的に図っている</li> <li>○幼小中高の連携が取れている</li> </ul>	<p>学校法人城星学園学校関係者評価委員会は理事会・後援会（保護者）・各学校種管理職・評議員（学識経験者）により構成されている。平成29年度学校評価に関する検討は平成30年5月10日（木）に行われた。</p> <p>&lt;意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全般について 満足度が高く、総合的な環境も良く保護者の期待に沿った活動を行うことができていると考える。</li> <li>○保護者との情報共有について 繰り返しになることがあると思うが、教育方針・教育目標について折に触れて保護者に伝えることが重要である。</li> <li>○体制について シスターに触れる機会が減ったこと、また教員の中途退職により不安を感じた保護者もいるため、より一層の体制整備を望む。</li> <li>○地域との連携について 回答する側に地域との連携に関する具体的なイメージがなく答えられなかったのではないかと。より城星学園らしい教育内容を追及してほしい。</li> </ul>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 アシスタントを 実践する	キリスト教の精神に基づく教育活動の実践	ア)自然を大切にすることと豊かな感性を育む  イ)キリストの教えと生き方を学ぶ  カ)子ども自身が愛されていると実感できるよう、愛情深く見守る	設問「子どもの自然を大切にしようとする気持ち、物を大切に扱う行動などが見て取れる」のA・B評価が80%以上。  設問「教育方針に沿った教育を行っている」のA・B評価が85%以上。  設問「教職員は子どもにあたたかい態度で接し、信頼関係を築いている」のA・B評価が90%以上。	学校評価アンケート結果を評価指標とし、それを踏まえて自己評価を実施することとする。  イ)A・B評価 74.7%。年長は高い評価を得られたが他学年の評価が低めであった。自然に目を向けられるだけの日常のゆとりを持つ必要がある。(△)  ア)A・B評価 86.0%。宗教の話、行事などの中で投げかけているが、表面的な様子が見られ、意識の薄さがあった。(○)  エ)A・B評価 93.8%。見守り関わってきたことに関しては高い評価を得たが、年度途中で教員の退職発生が保護者、子ども達ともに不安にさせてしまった点は残念であった。(◎)
2 園児・児童・生徒の安全「管理を徹底	安全教育を実施する	ア)交通安全の指導、防災と地震の訓練を実施する  イ)安全に留意して遊ぶ力を培う  カ)教育環境の危機管理の為、定期的に点検をする	設問「子どもたちへの安全教育を実施している」のA・B評価が90%以上。  設問「自分で遊びを見つけ、熱中して遊ぶようになった」のA・B評価が80%以上。  設問「園の施設・設備は、安全管理が行き届いている」のA・B評価が90%以上。	ア)A・B評価 94.4%。様々な場面を設定しながら、対応や行動の内容について見直し、取り組む事ができた。(◎)  イ)A・B評価 89.9%。全体的に高い評価を得られたが、特に年少の評価が高かった。教職員の声掛けが功を奏していると感じられる。(◎)  カ)A・B評価 92.7%。安全面を念頭において、点検時以外にも環境に目を向ける習慣がついた。(◎)
3 「良心的な人間、よき社会人」を育成する 教職員」を育成する	人と人との関係性を深める	ア)教育者としての意識と技術を向上させるための研修を実施する  イ)教員間の人間関係を深め共に連携していく  カ)園児に関する情報交換を実施する	設問「教員の心配りが行き届いている」のA・B評価が80%以上。  設問「教職員は、協力し合って保育を行っている」のA・B評価が80%以上。  設問「個人情報適切に取り扱っている」のA・B評価が80%以上。	ア)A・B評価 87.1%。園内研修の取組みは保育を見直す機会となった。園外での研修にも積極的に参加したい。(○)  イ)A・B評価 94.4%。教員減少により、今まで以上に連帯感を持って取り組むことで気づくこともあり、補い合うことが出来た。(◎)  カ)A・B評価 94.4%。情報交換を行う機会を毎日持ち、全教員が共有することが出来た。(◎)

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
4 幼稚園プラン推進するプロジェクトを	予防教育法をなお一層研究し実践する	ア)自分で考えて判断し、行動できるようになる	設問「自己の課題に向けて全力で挑み、解決しようとするようになった」のA・B評価が80%以上。	ア)A・B評価 80.3%。特に年中の評価が高かった。(○)
		イ)園の行事を通じてさまざまな力を養う	設問「幼稚園の行事が楽しいと言っている」のA・B評価が80%以上。	イ)A・B評価 94.9%。全学年を通じて非常に高い評価を得られた。(◎)
		カ)園生活を通じて基本的な生活習慣を身につける	設問「子どもに基本的な生活習慣が身に付くような生活指導を行っている」のA・B評価が80%以上。	カ)A・B評価 94.4%。全学年を通じて非常に高い評価を得られた。(◎)
5 自然に挨拶が交わされる学園にする	教職員が率先して挨拶を励行する	ア)教職員間で挨拶を励行する	設問「幼小中高の連携が取れている」のA・B評価が80%以上。	ア)A・B評価 39.4%。校種を問わず、率先して挨拶を交わすことを習慣づけることが必要である。(×)
		イ)園児に対し挨拶・会釈の指導を行い励行を促す	設問「教職員は、気持ちの良い挨拶を行っている」のA・B評価が85%以上。	イ)A・B評価 95.5%。率先して声をかけ笑顔で接することで、子ども達の方から先に元気な挨拶をする姿が見られた。(◎)
		カ)より良い教育共同体作りを行う	設問「幼稚園は、地域との連携を積極的に図っている」のA・B評価が80%以上。	カ)A・B評価 43.4%。新体制になり信頼関係の構築を目指したが、年度途中で教員の退職が発生し、園児・保護者に対し不安感払拭に努めなければならなかった。(×)